

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

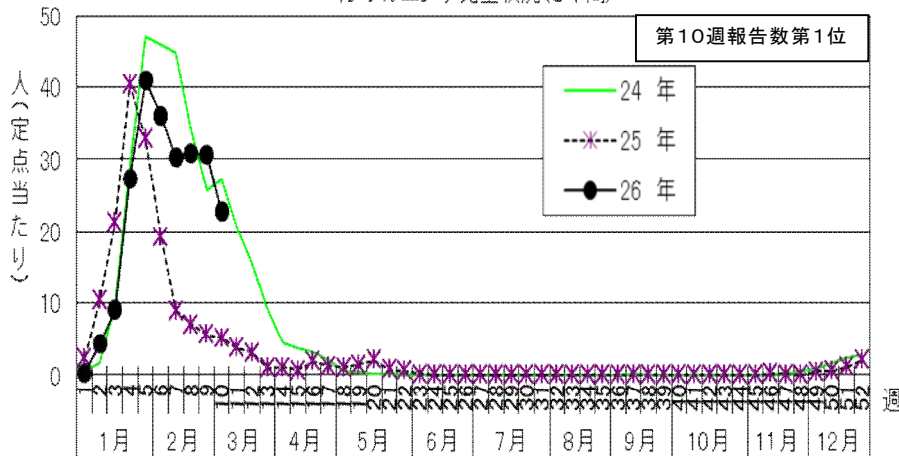
平成26年3月3日（月）～平成26年3月9日（日）〔平成26年第10週〕の感染症発生状況

第10週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。インフルエンザは定点当たり23.11人と前週（30.63）より患者報告数は減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

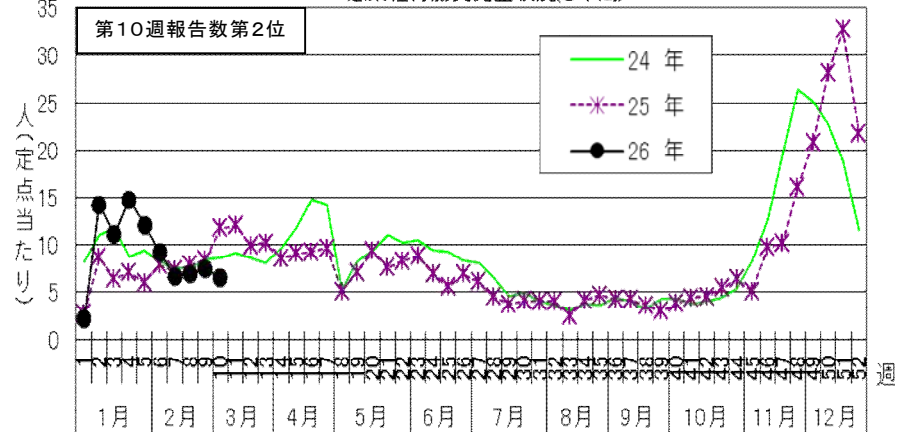
感染性胃腸炎は定点当たり6.45人と前週（7.33）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

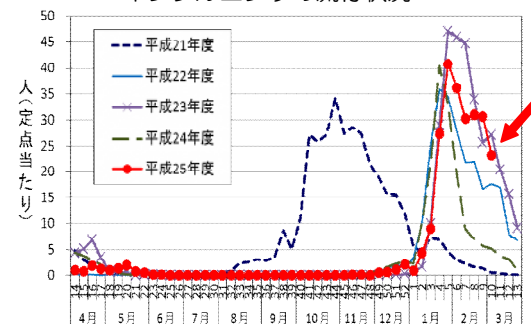


引き続き予防対策の徹底を！～インフルエンザ～

川崎市におけるインフルエンザの患者報告数は減少傾向にありますが、依然として高いレベルで推移していますので、引き続き予防対策を徹底しましょう。

今回は「**かかったときの注意点**」についてご紹介しますので、参考にしてください。

インフルエンザの流行状況



かかったときの注意点

- ①咳が出るときは、マスクをしましょう。
- ②家族が患者さんと接するときは、念のためマスクを着用し、こまめに手洗いをしましょう。



- ③発症後5日及び解熱後2日程度は他の人にうつす可能性がありますので、**自宅でゆっくり療養**しましょう。
- ④こまめな換気を心がけましょう(1時間に1回程度)。※風の入口と出口をつくり、風が通り抜けるようにすると効果的です。

※インフルエンザの感染力はとても強く、対策を行っていても、誰かにうつしてしまうことがあります。家族全員で予防対策に取り組むことが大切です。